

本時の主張

本時は、生徒が、共通テーマ「感じを伝える漢字 ～文字絵がしゃべりだす～」について、自分で選択した漢字の一部をイラストにしたり、漢字の形を変える工夫を考えたりする表現を考えながら、文字のデザインに対する発想や構想を広げることを目指す。

前時まで、「永」の字を明朝体とゴシック体でレタリングを行い、文字の点画や字画、構成を理解している。また、部首を含む漢字を自由に選択してのレタリングも行っている。しかし、文字（レタリング）の基本的な構造を理解するだけであり、技術の習得に留まっている。本時からは、それらを活用し、漢字の表す意味からイメージを膨らませ、分かりやすさと美しさなどの調和を考え、文字絵の構想を練り、表現することの楽しさを味わわせていきたい。

そこで、本時では、次の手立てを講じる。

- ① 共通テーマ「感じを伝える漢字 ～文字絵がしゃべりだす～」を提示し、漢字を文字絵に変換して表現する意欲をもたせる。
- ② モデル作品を提示し、文字絵を発想するためのシミュレーションをさせる。
- ③ 表現してみたい漢字を選択させ、「形の一部を〇〇な(の)イラストに変える」または、「形を〇〇してみる」というフレーズで、本時の活動の全体のイメージをもたせる。
- ④ めあての達成度を自己評価させることで次時の課題とめあてをもたせる。

この手立てにより、生徒は、共通テーマ「感じを伝える漢字 ～文字絵がしゃべりだす～」について、漢字の意味を考えながら、漢字の一部を形に変えたり、形を変える工夫を考えたりしながら表現し、自分の発想や構想を広げることができるようになる。

1 題材名 「感じを伝える漢字」 ～文字絵がしゃべりだす～

2 題材の目標

- (1) 「知識及び技能」に関する題材の目標
 - ・ 形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、美しさや表現の面白さなどを全体のイメージでとらえることを理解する。（[共通事項]）
 - ・ 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表す。（A表現（2））
- (2) 「思考力、判断力、表現力等」に関する題材の目標
 - ・ 伝える目的や条件などを基に、伝える内容などから主題を生み出し、分かりやすさや美しさなどの調和を考え、心豊かに表現する構想を練る。（A表現（1））
- (3) 「学びに向かう力、人間性等」に関する題材の目標
 - ・ 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に見る人に対して分かりやすく伝えることなどを基に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、美しさや表現の面白さなどを全体のイメージでとらえることを理解している。 ・ 材料や用具の特性などから制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝える目的や条件などを基に、伝える内容などから主題を生み出し、分かりやすさや美しさなどの調和を考え、心豊かに表現する構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に見る人に対して分かりやすく伝えることなどを基に、表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。

の順序などを考えながら、見通しをもって表している。		
---------------------------	--	--

4 題材の指導計画（全8時間）

（1）題材と生徒

本題材は、デザインの分野の学習である。生徒にとって初めての分野である。材料や用具の生かし方を身に付け、意図に応じて工夫して表す力を身に付けるために、生徒の身近にある文字（レタリング）を題材とした。視覚伝達によって自分の意図を伝える題材である。アクリル絵の具の特徴である均一に着色する技術を学習することもねらいとしている。

本題材で育てたい知識・技能は、意図に応じて表現方法を創意工夫して、見通しをもって創造的に表すことである。レタリングの学習を通して文字をデザインすることを理解させ、既習のレタリングからデザインの構想を練り、第三者に伝えるための工夫を考えさせるようにする。

思考力・判断力・表現力等は、漢字の意味を伝えるために、レタリングした漢字の一部をイラストにしたり、形を変化したりすることから主題を生み出し、形を生かす色彩の関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っていく。

ここで身に付ける資質・能力は、視覚伝達デザインの題材（メッセージポスター・ピクトグラムなど）において今後用いられる。

（2）題材の指導の構想

本題材では、デザインにおける材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表現する力を育むために、次のように指導する。

まず、一時では、新聞などの活字から受ける印象や特徴を考える。印象に残った活字について意見交換をする。

次に、二時では、明朝体の特徴を学び、レタリングの制作手順を知る。その際、レタリング字典の使い方も同時に指導する。練習課題「永」の字をレタリングする。書き方のイメージと見通しをもつことができるように、教師の制作場面を実物投影機で映すことを行う。

さらに、三時では、ゴシック体の特徴を学び、二時と同様の手順で練習課題「永」の字をレタリングする。その後、部首（いとへん、くさかんむりなど）を含む漢字を自由に選択して、バランスをとる練習課を行う。

そして、四時では、共通のテーマ（感じを伝える漢字）を表現していくことについて、テーマについてのイメージを問い、モデル作品を提示して、漢字の意味や表現するための工夫を問う。その後、イメージを明確にするために、形容詞からイメージを膨らませ、自分のめあてを設定させて制作を行い、制作後にめあての達成度と次時のめあてを問う。

五時では、四時で広げた発想や構想を基に自分のイメージをより明確にすることを通して、本作品の構想を考え、下描きを行う。漢字の意味から主題を生成し、文字絵の形や色彩などの効果を生かし、表現の構想を考える。

その後、六時・七時では、自分のイメージと漢字の意味に合う配色を構想して、絵の具の特性を生かしてアクリル絵の具で着色する。

八時では、作品を振り返る活動を通して修正し、相互鑑賞を行う漢字の意味と文字絵の表現の工夫との関係を感じ取り、絵の具の特性を生かしながら制作したデザインの面白さやよさを味わわせたい。そして、他者に伝える意識をもつことができる生徒を育成したい。

5 題材の指導計画（全8時間）

時	学習のねらい（○）と主な活動内容（・）	評 価			
		知	思	態	評価規準
1	○文字をデザインすることを考える。 ・新聞などを見て、文字の印象や文字の特徴を話し合う。			○	・自分が印象に残った活字について、意欲的に意見交換している。
2	○明朝体の特徴を理解し、制作の手順を知る。 ・レタリング字典を見て、「永」の字を書く。	○			・点画に注意しながら、手順に沿って正確にレタリングしている。
3	○ゴシック体の特徴を理解し、制作の手順を知る。 ・レタリング字典を見て、「永」の字を書く。 ・自分が選択した部首を含む漢字を書く。	○			・点画に注意しながら、手順に沿って正確にレタリングしている。 ・点画だけではなく、「へん」「かんむり」などのバランスを取りながら、正確にレタリングしている。
4 本時	○共通のテーマに対するイメージをもち、形の工夫や変化を考えながら発想する。 ・テーマから発想を広げて、自分のイメージをもつ。 ・モデル作品を見て、表現するための工夫を考える。		○		・共通のテーマについて、形の工夫や変化によって発想や構想を広げている。 ・次時の構想について、自分のイメージをもとうとしている。
5	○構想を練り、アイデアをまとめる。 ・前時に制作した漢字のアイデアスケッチのイメージを膨らませ、それを基に下描きをする。 ・漢字の再選択を行い、アイデアを考える。	○			・伝える目的や条件などを基に、自分のイメージに合った構想を考えている。 ・自分のイメージと漢字の特徴を基に、発想豊かに構成を考え、下描きをしている。
6 7	○作品制作を行う。 ・アイデアをまとめて下描きを完成させ、アクリル絵の具で着色を行う。	○	○		・形や色彩などが感情にもたらす効果を考えながら、作品制作を行っている。 ・自分のイメージに合った表現を追究している。
8	○作品の仕上げと鑑賞活動。 ・よりよい作品を求めて作品を修正する。 ・作品の相互鑑賞を行う。		○	○	・分かりやすさや美しさなどの調和を考え、作品を修正している。 ・創造活動の喜びを味わい、自他の作品の良さを考察している。

6 本時の計画（4時間目/全8時間）

（1）本時のねらい

共通テーマ「感じを伝える漢字」（文字絵がしゃべりだす）について、自分で選択した漢字の一部をイラストにしたり、漢字の形を変える工夫を考えたりする表現を考えながら、文字のデザインに対する自分の発想や構想を広げることができる。

【新学習指導要領A表現（1）イ（イ）】

（2）本時の構想

共通テーマ「感じを伝える漢字」（文字絵がしゃべりだす）について、自分で選択した漢字の一部をイラストにしたり、漢字の形を変える工夫を考えたりする表現を考えながら、文字のデザインに対する自分の発想や構想を広げることを目指した授業である。

本時のねらいを達成するために、次の4つの手立てを講じる。

【手立て1】共通テーマ「感じを伝える漢字 ～文字絵がしゃべりだす～」を提示し、漢字を文字絵に変換して表現する意欲をもたせる。

生徒の発想や構想を促し、制作への意欲を引き出すために、大型TVに共通テーマ「感じを伝える漢字」を映し出し、テーマについてイメージできるか問う。こうすることで、生徒はテーマについてどのように表現したら

よいかと考え始める。

【手立て2】モデル作品を提示し、文字絵を発想するためのシミュレーションをさせる。

造形的な視点を共有させるために、まず、複数のモデル作品を美術室に提示する。モデル作品を鑑賞しながら、生徒は漢字の一部がイラストになっていることに着目したり、形自体が変化していることに着目したりする。そのような生徒に、感じを表す漢字を表現するための工夫を問い、発表させる。こうすることで、文字絵を表現するための造形的な視点を共有する。

【手立て3】表現してみたい漢字を選択させ、「形の一部を〇〇な(の)イラストに変える」または、「形を〇〇してみる」というフレーズで、本時の活動の全体のイメージをもたせる。

アイディアを出やすくなるために「形容詞」の例をTVモニタに映し、漢字を選択させる。また、自分の作品制作に向けた見通しをもたせるために、「形の一部を〇〇な(の)イラストに変える」または、「形を〇〇してみる」という具体的なフレーズで、自分のめあてを設定させる。こうすることで、生徒は共有した造形的な視点を基に、どの工夫を活用して表現していくかなど、具体的に発想や構想をしていく。

【手立て4】めあての達成度を自己評価させることで次時の課題とめあてをもたせる。

発想や構想ができたことを実感させ、さらに広げていく見通しをもたせるために、めあての達成度と次時のめあてを問う。こうすることで、生徒は自身の発想や構想について振り返り、本時の成果や課題を感じるとともに、さらに発想や構想を広げて制作しようとする。

(3) 展開

学習活動	教師の働き掛けと予想される児童生徒の反応	■評価規準 ○留意点
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;">導入</div> <p>1 共通テーマを知り、学習課題を設定する。 (5分)</p>	<p>T1 みなさんレタリング楽しんで書いていますね。今日は、身に付けたレタリングの技術を使ってデザインをしていきたいと思います。いいですか？</p> <p>S1 いいです。</p> <p>T2 そのための、今回の共通テーマは… みんなで読んで見ましょう。せーの。</p> <p>S2 『感じを伝える漢字』</p> <p>S3 え～シャレですか。</p> <p>S4 どういうこと。</p> <p>T3 いい反応ですね。「感じを伝える漢字」ってイメージできますか？</p> <p>S4 何を書くの？</p> <p>S5 普通にレタリングすること？</p> <p>S6 絵を描くってこと？</p> <p>T4 なるほど、分らないそうですね。では、これだとイメージできますか。 <～文字絵がしゃべりだす～をモニタに映す></p> <p>S7 わかった。顔文字みたいにする。</p> <p>S8 それはちがうんじゃない。</p> <p>T5 いろいろ考えてますね。これを見てください。 <レタリングした文字と文字絵をモニタに映す> どうですか。</p> <p>S9 右の方、おもしろい。</p> <p>S10 すごい。</p> <p>T6 少し時間を取りますので、近くの人と今見た作品の工夫について相談してみてください。</p> <p>S11 作品の工夫について考える。</p> <p>T7 それでは、これから「感じを伝える漢字」にするにはどんな工夫をすればよいか、みんなで考えてみませんか？</p>	<p>【手立て1】 共通テーマ「感じを伝える漢字」を提示し、漢字を文字絵に変換して表現する意欲をもたせる。</p> <p>○ 共通テーマを大型TVに提示し、生徒に読ませる。</p> <p>○ 生徒の反応を見取り、驚きや疑問を声に出させる。</p> <p>～文字絵がしゃべりだす～を掲示し、再度イメージを問う。</p>

	<p>S12 うなずく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【学習課題】 「感じを伝える漢字」にするには、どんな工夫をすればよいだろうか。</p> </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">展開</div> <p>2 モデル作品から、表現の工夫を見付けて共有する。(20分)</p> <p>3 自分のめあてを立てて制作する。(20分)</p>	<p>T8 もう少し手掛かりが必要ですよ。そう思って、今日は作品をいくつか用意しました。こちらです。 →モデル作品提示</p> <p>S13 おお～、なるほど。</p> <p>S14 文字を絵にするのか。</p> <p>T9 これから2分間時間をあげます。2分間でモデル作品を見て周り、感じを伝える漢字の工夫点を見付けましょう。では移動して鑑賞します。</p> <p>S15 作品を見て回り、工夫点を見付ける。 <2分後></p> <p>T10 それでは、感じを伝える漢字にするためには、どんな工夫をすればよいか、見付けたことを発表しましょう。</p> <p>S16 漢字の部分をイラストに変える。</p> <p>S17 漢字の形を変えていた。</p> <p>T11 ポイントになりそうな工夫は何ですか？</p> <p>S18 漢字の意味が伝わってこないといけないと思う。</p> <p>T12 そうですね。適当にイラストにしても伝わらないということですね。みなさんの考えたことをまとめると、今日の学習課題の答えはどうなりますか？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【まとめ】 漢字の意味を伝えるためのイラストを描いたり、形を変えたりするとよい</p> </div> <p>T13 このような工夫をすると、感じを伝える漢字が表現できそうですね。それでは、みなさんも考えていきましょう。その前に、まず、漢字選びですが、この中から考えてください。「形容詞」です。分かりますか？</p> <p>S19 「～～い」で終わる言葉？</p> <p>T14 そうです。浮かばない人はモニターを見てください。漢字が選択できたら「形の一部を〇〇な(の)イラストに変える」か「形を〇〇してみる」というフレーズで、自分のめあてを立てましょう。</p>	<p>【手立て2】 モデル作品を提示し、文字絵を発想するためのシミュレーションをさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 技法を用いたモデル作品を5つ準備し掲示する。 ○ 回り方をTVモニターで指示する。 →壁面と後方に置かれた作品を鑑賞するために、列で移動する。 ○ 感じを伝える漢字を表現するための工夫を問う。 ○ 学習課題につながる情報を拾い上げ、板書する。 ○ 学習課題を確認し、学習課題の答えを問う。 ○ 生徒の声を生かしながら、本時のまとめを板書する。 <p>【手立て3】 表現してみたい漢字を選択し、「形の一部を〇〇なイラストに変える」または、「形を〇〇してみる」というフレーズで、本時の活動の全体のイメージをもたせる。</p>

	<p>ワークシートを配布します。 ワークシートのめあての枠内に書きましょう。時間は5分間です。どうぞ。</p> <p>S20 「さんずいを水のように変える」〈涼しい〉 S21 「形をつぶして書いてみる」〈重い〉 T15 それでは、これから制作に入りましょう。 今日の制作時間は14時25分までです。何も資料がないと描けない人もいます。後方の長机にwatchという資料集を置きます。必要に応じて活用してください。</p> <p><S 制作></p> <p>S22 自分でイメージした形を描いている。 S23 イラストにするための資料を探して描いている。 S24 自分のイメージに合わせて制作を進めていく。</p>	<p>○ 「形の一部を○○なイラストに変える」「形を○○してみる」というフレーズで、ワークシートに記述させる。</p> <p>○ 必要に応じて教師の例示をモニタに映す。</p> <p>○ ワークシートを配る。</p> <p>○ 制作中の指示や資料の場所を大型TVにまとめて示しておく。</p> <p>○ 生徒の制作支援を行う。 ・レタリングは必要に応じて行うことを伝える。</p>
<p>終末</p> <p>4 本時の学習を振り返り、次時のめあてを設定する。(5分)</p>	<p>T16 今日の制作はここまでにします。 今日の授業の振り返りをしましょう。 「自分のめあてが達成できたかどうか」と、「次の時間のめあて」をワークシートに書きましょう。達成できたかどうかは、ABCの三段階で評価してください。</p> <p>S25 今日のめあてを評価する。 S26 次時のめあてを書く。 「もっとイラストのパターンを変えてアイデアを描いてみる。」</p>	<p>【手立て4】 めあての達成度を自己評価させることで次時の課題とめあてをもたせる。</p> <p>○ 振り返る内容（「めあての達成度」と「次時のめあて」）を指示し、ワークシートに記述させる。</p> <p>■「感じを伝える漢字」について発想や構想を広げることができる。</p>

(4) 評価

①評価方法

「感じを伝える漢字」について、発想や構想を広げることができたかどうかを、ワークシートの振り返りの記述によって評価する。

②評価規準

「感じを伝える漢字」について、自分のめあてを評価し、次時のめあてを記述することができる。

③B 評価の具体的な姿

三段階（A・B・C）で振り返り、今日のアイデアを振り返って、次回に向けての変更点など具体的に記述している。

例：B もっとイラストのパターンを変えてアイデアを描いてみる など

(5) 板書計画

<p>学習課題 感じを伝える漢字にするには、どんな工夫をすればよいだろうか。</p>	<p><まとめ> 漢字の意味を伝えるためのイラストを描いたり、形を変えたりするとよい</p>	<p>TV</p> <p>① 「感じを伝える漢字」 ② 鑑賞の仕方 ③ 制作時の注意点 ・レタリングについて ・watch</p>
<p>どんな工夫が見付けられた？ ・ ・</p>		

7 参考文献・板書計画

- ・『新潟市中学校授業づくり研修会【美術科】 各校から紹介していただいた題材』 新潟市教育委員会 2018
- ・『指導と評価の一体化のための学習評価に関する参考資料』 国立教育政策研究所教育課程研究センター 2020